

平成21年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	21-7	高知県	
メニューの内容	合併施設機能再生整備	(施設名)	合併施設機能再生整備
事業実施主体	高知県漁業協同組合		
評価期間	平成22年度～24年度		
事業費	15,015 千円		
交付金額	7,507 千円		
成果目標	3年間の総便益	4,798 千円	
実績値	3年間の総便益	6,174 千円	
成果目標の達成率	128.7 %		
事業の目的	<p>当手結地区の主な漁業はシイラまき網漁業が主力として営まれているが、浜値が安価なことにより、一度まき網に入ったシイラを沖で放流するなど、非効率な漁業が営まれている現状であり、安定的な漁業活動の支障となっている。</p> <p>このような中で漁協自らが入札に参加し、これらの安価なシイラを一定の金額以上で落札し、第一次加工(頭と内臓除去)を漁業関係者グループが行い出荷するシステムを構築し、市場の活性化及び漁業経営の安定化を図るため、既存の共同作業場を、シイラを加工するための施設へ改修した。</p>		
事業の成果	<p>事業実施前は、kg単価が10円以下という安価な日もあったが、漁協自らが入札に参加し、最低30円で札入れを行うことにより、平成24年度漁協購入実績では平均kg単価68円となり、浜値の底上げを維持している。</p> <p>また、加工もドレス加工(頭と内臓除去)からフィレ加工(*機械化はしておらず、全て手作業)へと発展し、販売先の選択肢も増えた。</p> <p>以上のことから、受益漁業者の所得向上及び市場の活性化が図られた。</p>		
その他特筆すべき事項	8名の地域雇用の確保。シイラ漁期以外(12月～4月:計画漁期以外)にも地元で養殖されているハマチ等の他魚種を加工するなど施設の周年稼働の実現した。		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考			